

スポンサー様 各位

GAZOO Racing 86/BRZ Race 活動報告 Vol. 2

第3戦 鈴鹿サーキット (8/17)

第4戦 岡山国際サーキット (8/31~9/1)



平成 2 5 年 9 月 吉 日

まんさく自動車 代表 井上尚志

第3戦 鈴鹿サーキット (8/17)



GAZOO Racing 86/BRZ Race 第3戦 鈴鹿

岐阜から一番近い鈴鹿サーキット。

さすがは世界でも有名な鈴鹿サーキットとあって、今回は70台ものエントリーがありました。

決勝出走台数は、40台。30台が予選落ちになってしまう厳しい予選は、A、Bの二組で行われました。

それまでのフリー走行でのタイムは2分40秒前半。予選通過の予想タイムのギリギリとなる為、失敗は許されません。新品タイヤに履き替え、数周しかベストラップを刻めないブリヂストンに細心の注意を払ってアタックをかけました。結果は無事、ベストを更新する2分38秒906。B組13位、走行26位で予選通過となりました。予選トップは、シリーズ首位の山野直也選手でした。

決勝は、左のグリッドにいる織戸学選手についていき、あわよくば抜くという作戦。

まずまずのスタートの後、作戦通り織戸選手に喰らいつきます。織戸選手は富士でも少し前のポジションから順位を上げ、上位でフィニッシュを決めています。しかし、デグナーで詰まった際、それまで並走していた2台ほどに間に入られ、織戸選手とは離れてしまいました。

その後は、前も後ろも団子状態でレースは進みます。順位は、25位前後。

中盤、タイヤの反応が怪しくなってきたと思うか思わないかのタイミング、順位が23位まで上がったデグナー2。ブレーキングしてステアリングを切り込んだ際、フロントタイヤの反応が悪く、ラインがはらみアウト側縁石を外した際、失速したおかげで5台もの台数にパスされ28位に落ちてしまいました。いままで参戦していた草レースなどとの違いを痛感した瞬間でした。このレースでは、全てのエントリーが拮抗していて、少しのミスで大きく順位を落としてしまいます。

その後、気を取り直し、数台をパス。結果24位でレースを終えました。

富士、SUGOと比べて若干の順位アップを果たしました。しかし、上位との差を痛感したのも事実。

まんさく自動車は、更に上位を目指します。

第4戦 岡山国際サーキット (8/31~9/1)



GAZOO Racing 86/BRZ Race 第4戦 岡山

岡山には、1週間前に雨のセッティングをテスト、レースウィークには木曜日から岡山入りしてセッティングを煮詰めました。しかし、天候に振り回されるレースウィークとなりました。

木曜日は、ドライ。金曜日はドライ→ウェットのコンディション。台風が近づく中、土曜日の予選はウェットになるかと思われましたが、まさかのドライ。日曜日の決勝はウェットの予想が出されており、各チームのセッティングがどちらにするかが勝負の分かれ道となります。

まんさく号のセッティングは、ドライ↔ウェットの中間を選択、
B組での予選は、自己最高位の8位！総合16位で決勝に挑むことになりました。

決勝は、あいにくの雨。

しかも、激しい雨の為、GAZOO Racing 86/BRZ Raceでは初となる、セーフティカー先導によるローリングスタートとなりました。

雨の岡山ではラインが少なく抜けない為、前についていき隙を伺う作戦。レース中盤までに2~3番手ほど順位を上げました。しかし、ペースが上がらない集団に付き合わされる間に後方から追いつかれ、逆に攻められる立場に。激しいバトルを繰り返すうちに、右リヤを激しくヒットされ、スピンさせられました。

幸いコース上に留まることができました。ひとつ後方集団には、服部尚貴選手や織戸学選手が。

バトルを繰り返すうちに服部尚貴選手をパス、織戸学選手を最後まで抑えきって、順位は決勝も自己最高位の18位で終える事が出来ました。

徐々に順位も上がり、シーズンを進める事が出来ています。次回、十勝は欠席予定でしたが、上り調子の為、急遽参戦が決定しました！次回も頑張りますので応援を宜しくお願いします。